



お客様からの メッセージ

今から20数年前、ある若い奥様が来店下さるようになりました。以来、お客と店主の間柄を超えて絵本談義に花を咲かせてもらっています。先日、その方から素敵なメッセージを頂戴しました。

私のファースト絵本は『ちいさなうさこちゃん』の絵本セット。亡き父は本が好きだったので、私によく買ってきてくれました。中でもお気に入りの物語は、『こびとのくつや』でした。何百回も読みました。物語のページを繰り返し、繰り返しめくっては戻って、夢中になってた日を思い出します。

大人になってからはみやがわ書店に足を運び、今度は絵本を自分の為に探すようになりました。ここに来ると必ず欲しい絵本と出会えます。ターシャ・テューダー『コーギビルの村まつり』『コーギビルのいちばん楽しい日』『ひつじのリンジー』、ガブリエル・パンサン『アン

え まついのりこ



ジュール『セレスティーマシリーズ』、ジョン・バーニンガム『地球というすてきな星』『アルド』『くものこどもたち』、エリックカール『パパお月さまとって』『ちいさいタネ』『ことりをすきになった山』、ミヒヤエル・エンデ『はてしない物語』『モモ』『ゆめくい小人』などなど…。

絵本が私の心に栄養を与えてくれます。心境によって選ぶ本、読みたい本も違うので、じっくりと絵本を選ばせてもらう、この時間もまた癒しになっています。今日も素晴らしい出会いがありました♪
(小西志保)

当店では、「大人こそ絵本を!」という作家 柳田邦男さんの言葉を一つのキャッチフレーズにしています。絵本は子どものみならず、大人の心にも届くものがあると、日々感じています。

お知らせ

2023 7

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 定休日	3 紙芝居 ピッポの会 ミニ講座	4 おはなし会	5	6 定休日	7	8 おはなし会
9 定休日	10	11 大人のための 絵本の時間	12	13 定休日	14	15
16 定休日	17 営業します	18 おはなし会	19	20 定休日	21	22 おはなし会
23 定休日	24	25	26	27 定休日	28	29
30 定休日	31					



7/13(木) 第3回紙芝居基礎講座

毎月第2木曜 午後2:30～ 資料代500円
定休日ですがお店で行います
お問い合わせはお店まで

おはなし会

4日(火) 11:00～
8日(土) 14:00～
18日(火) 11:00～
22日(土) 14:00～



大人のための絵本の時間

11日(火) 10:00～ 大人も絵本を楽しみたい!

紙芝居ピッポの会ミニ講座

3日(月) 14:00～

※ホームページでもぶっくだよりが読めます。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで



えほんと童話の店 みやがわ書店

〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)

- 電話・FAX 0596-22-4317 ●Eメール ehonbaba@gmail.com
- 定休日 毎週日曜日・木曜日 ●営業時間 AM10:00～PM6:00
- ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>





「スムート」
文 ミシェル・クエヴァス
絵 シドニー・スミス
訳 いわじょう よしひと
BL出版 1,870円

影は主から離れられない、どんなにやりたいことがたくさんあっても…。ところがある日、影は離れた!!それを見ていた他の影も…



「あめのひのくまちゃん」
高橋和枝
アリス館 1,430円

雨の野原はどうなっているのか知りたくなってきたくまちゃん。外に出て行ってみました。そして家に帰ってからも目や耳でいっぱい雨を感じました。



「おはようどり」
むろまいこ
福音館書店
1,430円

おはよう!とみんなを起こしながら鳥たちが元気に飛んでいきます。陶で出来た鳥はカラフルでかわいい。明るい1日の始まり。



「ごみじゃない!」
minchi (みんち)
PHP研究所
1,430円

靴下を買ったときについているクリップ、捨ててませんか?ティーバッグの袋とか…ごみじゃないです。



「おばあちゃんのにわ」
ジョーダン・スコット 文
シドニー・スミス 絵
原田勝 訳
偕成社 1,760円

カナダの詩人ジョーダン・スコットと、言葉が通じにくいおばあちゃんとのコミュニケーションを、深みのある絵で描きます。

くたんのせいかつ絵本

きたやまようこ さく
あすなる書房 各990円



「はみがきしてもいいですか?」



「なつやすみ」
麻生知子
福音館書店 1,650円

こうたくん家族がいとこ家族と過ごした夏休みの一日。既刊「こたつ」に続き、上から見た構図とレトロな色調が印象的。



「おふろにちゃっぽーん!」



「いっしょにねるこだあれ?」

大人コース



「おばあちゃんちのふしぎなまど」
シビル・ドラクロワ さく
石津ちひろ やく
ほるぷ出版 2,090円

おばあちゃんちの水色の窓は不思議な窓。開ける度に違った風景が見えるんです。その景色を音や匂いなど五感を使って思いっきり感じる「わたし」

そして家に帰って水色の窓がなくても、すっかり想像の景色を作り上げることが出来たのでした。

ところで、この窓からの景色は何処かで見たような…実はふだんは額縁の中に収まっている名画たちなんです。額縁を窓に変えるとこんなにも迫力を持ち、身近に感じたりするのですね。もう一度名画を見たくくなりました。

(さつき)

新刊紙芝居



「むし、はっけん!」
脚本・絵 じゅえき太郎
童心社 1,540円 8場面

いっしょに虫を探しましょう!
花の陰に…むし、はっけん!
迫力の虫たちが登場します。